

広島工大同窓会会報

第 15 号

広島工業大学同窓会
広島市外五日市町三宅
発行所
中原重男

第16回定期総会報告

同窓会活動に協力を

第16回定期総会が去る4月29日市内中区中島町の広島工業大学広島校舎5階講堂において開催された。例年の如く出席者は50数名であった。総会には中原会長の挨拶で始まり、新名誉会長の吉田亜夫学長、顧問山本博先生、新顧問前川力先生の同窓会への発展についての話しがあり、議長に昭和44年機械卒の坂本氏を選出し、昭和55年度活動報告、決算報告等の議題の順に進められ、活発な意見が多数出された。特に今総会においては会則改正が全出席者によって承認され、内容的かつ形式的にも充実された。又、4月1日から新学長に就任された吉田亜夫名誉会長の挨拶の中で大学への援助に対しての謝辞、卒業生への激励の言葉を頂いた。一方、9年間にわたる名誉会長前川力前学長に会長からお礼の言葉を述べ、新顧問として留まって頂くことになった。

総会終了後、引き続き鶴巻総長をはじめ多数の教職員が参加され、同窓会員との懇談会が2階広間で開催され、盛況のうちに終了した。

なお、以下に中原会長の挨拶の要約と総会の議事録を簡単に記しておきます。

今回で総会も第16回となり、会員の数、予算面から見ても一応の形は整ってきました。活動内容につきましても他大学に一步も劣らないほど充実しており、特に在学生に対する奨学金配布については募集人数も非常に多く大学入試のパンフレットにも載っている程になった。

現在、会員数も1万2千名を越え、基金5,000万円の有効使用が懸案となっている。この基金を前回の総会でも述べた様にさらに増やす方向にもって行きたいが、その方法についてはまだ検討していません。

所で、今年度から、3年毎に名簿を発刊していたものを毎年発刊し、新卒業生については全員記載名簿を、又、



会員に対しては有料(今回は1,500円)で配布することになり、かなりの経費節減になることが説明された。

最後に、総会開催方法について検討してみる必要があるのではなかろうかという提案があった。例年50数名の固定化した出席者では同窓会全体の方向付けも難しい。そこで、現在、地域、職域を含め12支部ある支部にさらに積極的に結成してもらい、これは本年度の活動方針の一つでもあるが支部長会を総会としてもいいのではないか、又、全会員による総会は3年ないし5年に一度開催するとかこれは一例に過ぎないか何か方法を考えてみたいとの発言があった。

最後に昭和55年度活動報告、56年度活動方針について記しておく。

◎昭和55年度活動報告

1. 会報第14号の発行
2. 在学生に対する援助
体育祭、大学祭、遠征費、卒業記念品、奨学金
3. 会誌第15号の発行
4. 他大学同窓会の活動の調査
5. 名簿の発行
6. 会則の改正
7. 支部に対する援助

◎昭和56年度活動方針

1. 会誌、会報、名簿の発行
2. 在学生に対する援助
3. 支部の結成、育成
4. 名簿の充実
5. 活動の見直し



昭和56年度同窓会役員

会 長：中原重男（子）
 副 会 長：中塚晴夫（建）、橋田好弘（機）
 幹 事 長：沖根光夫（子）
 副幹事長：西田弘展（経）、片山剛之丞（子）
 会 計：西野達夫（経）、管 雄三（土）、重広孝則（子）
 会計監査：玉野和保（子）、玉田康莊（機）、松広 斉（経）
 書 記：砂田謙二（子）
 幹 事：電子—村田弘志、川畑敬志
 電気—猪上憲治、湯尻 照、原田義治
 機械—松江孝博、小西正明、中西助次
 森滝美治郎

土木—伊藤秀敏、林 清史、熊谷孝司
 建築—菅原辰幸、手越義昭、植村邦彦
 経営—広重 隆、近宗 貴、福永 保
 山口真理子
 評 議 員：電子—永見憲吾、河野信義、石井千之
 戸川 誠
 電気—森本房義、江原寿男
 機械—猪原恵昭、杉島民雄、砂原照雄
 土木—橋村邦夫、中田進一
 建築—馬場富次郎、上之博文、徳清秀夫
 経営—峠 孝司、倉本敏行、川口 典

昭和55年度会計報告（S55. 4. 1～S56. 3.31）

【決算】

項 目	収 入	支 出	残 高
昭和55年度 総 収 入	10,758,500		
昭和55年度 総 支 出		8,781,286	
合 計	10,758,500	8,781,286	1,977,214

上記残額のうち1,000,000円は別に定期預金としている。
 これは次回鶴虎太郎奨学会に預けている定期預金が満期時
 に入れる予定。

同窓会資産

(1) 鶴虎太郎奨学会に50,876,279円を定期預金として
 預けている。

【支 出】

項 目	予 算 額	支 出 額	残 高	項 目	予 算 額	支 出 額	残 高
会誌発行費	3,090,000	2,980,620	109,380	支 部 費	300,000	70,000	230,000
会報発行費	1,160,000	785,360	374,640	調 査 費	100,000	78,500	21,500
總會開催費	540,000	405,870	134,130	備 品 費	50,000	0	50,000
在学生援助費	750,000	597,000	153,000	委 託 費	400,000	377,200	22,800
卒業記念品代	600,000	504,000	96,000	奨学基金繰入金	327,000	327,000	0
通 信 費	200,000	44,480	155,520	鶴奨学会寄付金	100,000	100,000	0
消 耗 品 費	300,000	277,666	22,334	寄 付 金	1,000,000	1,000,000	0
交 通 費	100,000	48,090	51,910	予 備 費	1,395,678	1,025,000	370,678
会 議 費	130,000	112,500	17,500	合 計	10,634,678	8,781,286	1,853,392
役 員 手 当	92,000	48,000	44,000				

【収入】

項 目	決 算 額
昭和54年度繰越金	821,678
入会金 1,000円×993人	993,000
終身会費 10,000円×828人	8,280,000
總會会費 2,000円×100人	149,000
普通預金利息	313,822
広 告 料	200,000
雑 収 入(寄付金)	1,000
合 計	10,758,500

昭和55年度 同窓会奨学会計報告

〔決算〕

項目	収 入	支 出	残 高
基 金	2,210,674		
繰 込 み 金	327,000		
利 息	108,024 { (普通) 15,542 (定期) 92,482		
奨 学 金		360,000	
合 計	2,645,698	360,000	2,285,698

昭 和 5 6 年 度 予 算

〔収 入〕

項 目	予 算 額
昭和55年度 繰 越 金	977,214
入 会 金 1,000円×866人	866,000
終身会費 10,000円×888人	8,880,000
總會会費 2,000円×100人	200,000
預 金 利 息	70,000
広 告 料	200,000
雜 収 入(寄付金)	100,000
合 計	11,293,214

〔支 出〕

項 目	予 算 額
会 誌 発 行 費	3,695,000
印 刷 費	1,320,000
郵 送 費	2,275,000
交 通 費	100,000
会 報 発 行 費	1,037,000
印 刷 費	300,000
郵 送 費	637,000
交 通 費	100,000
名 簿 発 行 費	1,350,000
總 会 開 催 費	560,000
懇 親 会 費	500,000
交 通 費	10,000
諸 費	50,000
支 部 費	300,000

項 目	予 算 額
在 学 生 援 助 費	950,000
大 体 育 祭	350,000
遠 征 祭	200,000
遠 征 費	400,000
卒 業 記 念 品 代	600,000
通 信 費	100,000
消 耗 品 費	350,000
交 通 費	100,000
会 議 費	150,000
役 員 手 当	77,000
会 報 発 行 責 任 者	15,000
会 誌 発 行 責 任 者	2,000
名 簿 発 行 責 任 者	5,000
そ の 他(日当)	5,000
そ の 他(日当)	50,000
調 査 費	100,000
備 品 費	50,000
委 託 費	400,000
奨 学 基 金 繰 込 金	553,000
鶴 奨 学 会 寄 付 金	100,000
予 備 費	821,214
合 計	11,293,214

昭和57年度入学試験概要

工学部 男女共学

■ 募集人員

電子工学科	125名
電気工学科	125名
機械工学科	230名
土木工学科	125名
建築学科	230名
経営工学科	125名

■ 試験日・出願期間等

	1次試験	2次試験
試験日	2月7日(日)	3月8日(月)
出願期間	1月18日(月)～ 1月30日(土)	2月22日(月)～ 3月2日(火)
合格発表日	2月13日(土)	3月13日(土)
	合格者は合格発表日の正午に学内掲示で発表するとともに、合否の通知書を本人あてに送付する。	
試験場	本学・大阪・岡山 松山・福岡	本学のみ
試験科目	数学	数学Ⅰ・数学ⅡB(必須)
	理科	物理(Ⅰ・Ⅱ) 化学(Ⅰ・Ⅱ) } のいずれかを選択
	外国語	英語B

入試要項請求先(〒共 640円)

〒738 広島県佐伯郡五日市町三宅725

■ 奨学制度

名称	支給額	返還義務
鶴学園特待生	授業料全額免除	無
(財)鶴奨学会	(年額) 54,000円	無
広島工業大学同窓会	(年額) 36,000円	無
日本育英会	一般 (月額) 27,000円	有
	特別 自宅(月額)29,000円 自宅外(月額)39,000円	

その他、地方公共団体・民間育英団体の奨学制度がある。

■ 資格

- 高等学校教諭二級普通免許(工業)
教職課程を履修すれば、免許状取得可。
- 電気事業主任技術者
電気事業法の規定に基づく免状取得の資格有。
- 測量士
土木工学科を卒業し、1年の実務を経れば、無試験登録可。
- 測量士補
土木工学科を卒業すれば、無試験登録可。
- 建築士
建築学科または土木工学科を卒業し、実務を経れば、受験可。

広島工業大学 入試係

TEL (0829) 21-3121(代)

学 園 だ よ り

〔財団法人鶴虎太郎奨学会だより〕

本奨学会の近況をお知らせし、同窓生の皆さん方にご理解をいただきたいと思ひます。

昭和43年財団法人として創設された当時は1千万円の基本金でありましたが、その後、貴同窓会より毎年一定の金額を、また井樋義明氏より1千万円の寄付をいただくなど各方面各位からの諸寄付金等により、昭和56年現在約1億8千2百万円に達しております。本当に感謝でございます。また、創設以来13年間に奨学生延2,005名に対し奨学金59,341千円を給付いたしました。

同窓生の皆さん方のなかにも在学中、本奨学会の奨学生であった方も多しと思ひます。

本奨学会の基本方針は、故鶴虎太郎先生が60有余年の私学教育に貫けて学生・生徒を受し、特に学費の捻出に困難な学生の多数が勉学を途中で放棄することに心を痛められ、それらの人々に教育が受けられるように尽力された奨学精神を受け継ぎ、主として経済的に恵まれない真面目な学生・生徒に対する経済上の援助をすものであり、昭和56年度から大学生には1か月4,500円、高校生・中学生に

は1か月3,000円を給付（返還不要）しております。

また、奨学生のカウンセラーの一環として多数の奨学生のいる広島工業大学、附属工業高校、附属広島高校、附属中学校に Outreach 奨学生採用通知式を行うとともに鶴義理事長が奨学生に激励と自覚をうながす講話を行っており、奨学生の各学校のカウンセラーの先生とも連絡を密にする等カウンセリングに力をいれております。

奨学資金は、申すまでもなく、多数の人々よりの寄付金等をもとにした基本金の果実によってまかなわれております。今後とも、奨学資金の充実を図り、奨学生の増員あるいは支給額の増額を図っていきたくと思っております。同窓生の皆さま方におかれても、本奨学会の主旨をご理解いただき母校の後援の励みとするため毎年一定額の物質的援助をいただいておりますが、今後精神的にもあわせてご指導くださるようお願いするしだいです。

財団法人 鶴虎太郎奨学会事務局

〒738 広島県佐伯郡五日市町三宅
広島工業大学内（電話082940-3121）

会 員 だ よ り

「大学を卒業して」

電子工学科昭和56年卒業

吉田 佳夫
鶴ゼネラル

私は、今春電子工学科を卒業し、鶴ゼネラルに就職しました。現在約2ヶ月が過ぎようやく仕事にも慣れたところですが、今、大学生生活を振り返って思うこと、社会人として感じたことを書いてみようと思ひます。

最初の1ヶ月は全体研修があり、その後実際の職場に配属されました。私が配属されたところは、研究・開発をやっているところです。そこで一番最初に言われたことで心に残っているのは、「君達はプロだ」という言葉でした。将にその通りでそこが大学と違うところです。そして、プロである為には、もっと勉強しなければならない。その為には、体力も必要だし、基礎学力も必要だと感じました。

自分の学生生活を振り返ってみて、大して勉強したわけではないし、また残念ながら体力の方も自信をもてるほどきたえただけではありませんでした。しかし結局それからの生活のさきえとなるのは、やはり大学の研究室での生活であると思ひます。現在在学している後輩には卒研を一生懸命やって欲しいと思ひます。そして、自分はこの点においてすぐれているという点を見つけて欲しい。そうすれば、どんなことでもやって行けると思ひます。

何か固い事ばかり言いましたが、もし後輩に言う機会が

あれば「大学時代には時間があるので、遊びでも何にでも思い出が残る様に徹底してやって欲しい。そうすればその事がきつと役に立ちます。」そんな事を言いたいと思ひながら会社と寮を往復する毎日です。

「感じること」

近 宗 貴

古代から人間性をとらえて性善説、性悪説がある。性善説は孟子が唱えたもので、人の本性は善であり、不善をするのは物欲がさせるためであるという説。性悪説は荀子が唱えたもので、人の本性は悪であり、利欲の心が強く争いが絶えないという説である。

最近の新聞記事の多くは荀子の性悪説を証明してありまるとは思ひないかと思ひときがある。

水遊びをしていた小学生2人、後から池につき落しそのまま逃げた者がいるという記事。通り魔の犯人をつかまえてその理由をたずねたら単にムッシュンジャというため、うっぶんを晴らすためにやったという記事。このような記事が、ほとんど毎日のように新聞に掲載されている。が、しかし、このような中で「ねむの木学園」の宮城まり子さんのような人もいる。落ちこぼれた生徒だけをあつめて、見失なわれつつある真の教育を実践している先生がいる。

私は現在1男1女の父親である。私は私の子供におそらく財産と呼べるものは何も残してやれないであろう。ただ昨今の性悪説的な世の中を少しでも性善説的な社会にして子供に、人間の子孫に渡してやりたい。それができなけれ

ばそういう気持ちだけでも渡してやりたい。もちろん私一人がこう考えたところでどうなるものでもないことは十分承知している。けれど、このような感じを持つのは、おそらく私一人ではなかろう。その意味で私は孟子の性善説に賛成するし、又、理想主義者であろう。もちろん現実を忘れ

た理想主義は単なる夢にすぎないが、理想を忘れた現実主義はどみにくく打算的なものはないと思う。私は理想も現実の中の1つの姿とした理想主義的現実主義でありたい。

準会員だより

一各クラブ紹介一

ク ラ ブ 名	学 生 代 表 者	連 絡 先
剣 道	清 家 隆 幸	五日市町三宅1203の3 小畑荘
サ イ ク リ ン グ	小 谷 善 彦	五日市町中央3丁目2566-2 (松栄寮) TEL(0829)21-2709
柔 道	開 本 孝 登	五日市町千同1015-1 (0829)22-5509
卓 球	溝 岡 克 司	五日市町観音台10-73 (0829)23-3605
ス キ ー	石 田 智 泰	広島市中区舟入幸町25-10 (0822)92-1743
ヨ ッ ト	藤 井 泰 典	五日市町三宅623-3 山本アパート (0829)23-3006
ア ー チ ョ リ ー	合 木 伸 治	五日市町千同796-20 (0829)23-3803
弓 道	真 鍋 健 二	五日市町中地甲720 (0829)28-0123
軟 式 野 球	池 田 和 広	広島市安佐南区祇園町北下安180-2 (08287)4-0902
ハ ン ド ボ ー ル	吉 田 義 志	五日市町中央1丁目9-7
ラ グ ビ ー	辻 倉 寛	五日市町隅の浜3丁目9-48-5 木戸アパート (0829)21-2429
ボ ク シ ン グ	市 来 洋 光	五日市町中央3丁目2528-3 (0829)22-0740
自 動 車	森 宗 正 浩	五日市町利松1-153 (0829)28-3320
陸 上	飯 塚 博 史	五日市町坪井1153 山崎唯雄様方 (0829)21-3406
重 量 挙	白 石 憲 道	五日市町三宅189の1 東久保武三様方 (0829)21-1867
ボ ー ト	山 際 宏 二	五日市町屋代62番地
バ ス ケ ッ ト	横 路 一 弥	廿日市町佐方4丁目9-3 奥永様方 (0829)32-3438
バ ド ミ ン ト ン	高 橋 康 洋	広島市東区安芸町温品1032-4 (0822)89-3375
ス ケ ー ト	広 本 忠 典	五日市町八幡ヶ丘1-205 (0829)28-8455
ワ ン ダ ー フ ォ ー ゲ ル	山 口 泰 孝	五日市町中央5丁目901-1 北宮様方 (0829)22-5000
水 泳 部	河 向 裕 一	五日市町屋代65-1 滝宗荘 (0829)22-4470

ク ラ ブ 名	学 生 代 表 者	連 絡 先
硬 式 野 球	白 井 剛	五日市町坪井326-2 (0829)21-3072
サ ッ カ ー	村 井 覚	岩国市麻里布町3丁目19-33 (0827)21-0805
硬 式 庭 球	井 門 靖 久	五日市町美の里2丁目6-6 加茂様方 (0829)21-0805
軟 式 庭 球	三 宅 浩	五日市町屋代214 網本荘 (0829)22-4623
バ レ ー ボ ール	加 茂 和 志	廿日市町上平良伴丈木20-34 (0829)38-1661
空 手	金 石 敏 也	広島市安佐南区祇園町長束174-316
少 林 寺 拳 法	藤 丸 幹 男	五日市町薬々園1丁目4-32 (0829)23-2056
合 気 道	岡 田 浩 幸	広島市安佐北区高陽町中深川1985 (0822)85-8635
山 岳	石 原 孝 次	広島市南区東霞町16-20 (0822)85-8206
ユ ー ス ホ ス テ ル	高 橋 正 敏	広島市南区黄金山町11-15 (0822)82-9328
正 道 術 同 好 会	榎 大 介	五日市町大字屋代字中田173-7 (0829)23-8419
エ ス キ ー テ ニ ス 愛 好 会	平 井 敬	呉市焼山町814-125 (0823)33-6321
ゴ ル フ 愛 好 会	盛 秀 幸	東広島市西条町御園宇635-17 (0824)23-5092
馬 術 愛 好 会	恒 松 昇	広島市中区大手町3丁目13-10 本経寺ビル702 (0822)49-1019
射 撃 愛 好 会	林 浩一郎	五日市町中央2丁目1452-21 (0829)23-2712

体育局だより

「学生時代のスポーツの意義」

体育会本部長
清 家 隆 幸

我広島工業大学も新入生という新しいエネルギーの補給も終え、大学全体が活気にあふれるそんな時期になっております。

しかし、この若い貴重な時間を過ごす大学において、自分の本当の目的を見つけれず、又は期待と現実のギャップにやる気を無くしてしまう学生が目立つものこの時期です。

確かに学生個人個人において、大学というものの考え方は違うにしろ、この大学時代に要求されるのは、学力、体力、人間関係といったような小さな分野のみではなく、それらも含めた、大きな意味での人間完成ではないでしょうか。

今、社会が何を我々学生に期待しているかという事をしっかり認識する時、学生時代のスポーツを通じた、幅広い

人間関係、学生同志が協力しあって目的を達成しようとする情熱、協調性、そして何よりも、学生時代には自分は、何かに打ち込めたという自信は、欠くべからざる要素だと信じ、又人生において、かけがえのない思い出となることと思えます。

昨今、就職の場合にスポーツの体験、特に主将とかマネージャーの体験が広く買われているのも、大学の授業だけでは得られない重要な部分がスポーツの中には存在する事の表われてはいるでしょう。

確かに我々はスポーツをするために大学に来た訳ではありませんし、それによって勉強がおろそかになったり経済的に無理が生じるといったような問題点が出て来ております。

体育会といたしましても、そのような問題にも真剣に取り組み、皆で解決の方法を考え出しておりますが、このような問題は、将来必ずといって良い程、我々がぶつかり、乗り越えていかなければならない問題ではないでしょうか。

目の前に表われる様々な壁に対して敢然と立ち向い、乗り越えるためには、一人一人が、自分自身を厳しく見つめる事が必要になってくるのです。

そして学生時代を、学生にとって本当に充実したものに

するためスポーツが正しく存在するよう我々学生も頑張つてゆくつもりですので、これからも一層の暖い御支援と御理解をお願いする次第であります。

文化局だより

文化局も今年で第19期を迎えました。

諸先輩方の伝統を受継ぎ、新しい分野を開拓し、工大文化の発展を祈って文化系サークル員一同、日夜努力しております。

現在、文化系サークル員400名、サークル数23です。

これは、次のように4つに分けることができます。

技術系サークル

科学部	無線部	基礎理論部
鉄道研究部		
音楽系サークル		
マンドリン部	軽音楽部	グリークラブ
ロック部	フォーク部	
芸術系サークル		
美術部	書道部	写真部
映画研究部	放送部	
一般系サークル		
茶道部	ESS	囲碁将棋部
落語研究会	吟道同好会	生物愛好会
アイデア研究会	天文研究会	赤十字奉仕団



この4つの部門にそれぞれ技術幹事、音楽幹事、一般幹事がまとめ役としてついています。

文化局では6月から7月にかけて、色々な行事を予定しています。まず、芸術サークルによる第13回芸術展が6月18日から23日まで広島県立美術館、日立ファミリーホールで、一般系サークル、技術系サークル、芸術系サークルによる第3回学内文化展を予定しております。

そして、7月3日、音楽系サークルによる第16回文化局定期演奏会を広島郵便貯金ホールにて開催いたします。

この記事を読まれるころは、全て行事は終了していると思いますが、近くにご用事がありましたら、是非クラブハウスの方に遊びにきてください。サークル員一同楽しみまっております。

建築学科だより

建築学科へ

ブラジルからの

留学生

留学生の氏名：島原 みさ

所属研究室：佐藤 洋

出身地：サン・パウロ州モジ・ダス・クルーゼス市

略歴：プラス・クープス大学建築学科卒

専攻：建築設計・計画法とその表現

趣味：油絵、レザー・クラフト、その他
諸々



右より指導教官佐藤洋先生及び留学生島原みささん

同窓会本部だより

偶 感

広島工業大学同窓会顧問

前 川 力



私は今年の3月で学長の任期を終え、週1回の流体力学ゼミを担当するだけの身軽な身となりました。それと同時に同窓会の方も名誉会長から顧問に変わりました。過去8年間の在任期間を省みます時、誠にあわただしく、皆様のお役に立つことの余りに少なかったことを残念に、また、申し訳なく思う次第です。そして今後は顧問という名に相当するお役に立てればと思っております。

省みますと、わが広島工業大学も今年で16回目（短大時代を含めると18回目）の卒業生を世に出し、その総数は11,779名に達しました。昭和38年の創立当時は、私はまだ外部にりましたが、当時のことも多少は知っております。私には、まだ18年しか経っていない新しい大学との印象が強いのです。しかし、今の在学生にとりましては広島工大の創立は既に遠い過去のことであると共に、大勢の先輩は一大社会的勢力を形成しているわけで、大いに頼り甲斐があり、畏敬すべく、また、意欲を燃やす相手としての先輩群ができていくわけです。

さて、人間は孤独には堪え難いもので、群を作り、その中でそれぞれがその役割を果たすことで生き甲斐を感じると共に安心感を得ていることはよく知られている通りです。この帰属意識の最小単位が家族であり、氏族、部族と拡がり、現代社会では更に学校のクラス、クラブ活動の部あるいは同窓会があり、実社会においては所属する会社あるいは組合という様にいろいろな形をとっております。そして

それぞれが社会生活上いろいろな価値を持っていて、大切な役割を果たしております。

最近読みました文献に、日本の経済発展の原動力として会社への帰属意識の強いことが大きな原動力となっていること、そしてこの会社への帰属意識は大学卒業生が強く、大学教育の間に知らず知らずのうちに帰属意識が養われている点に、大学教育の大きな効用を認めていることが述べられています。

この様なことを思いますと、同窓会というものは帰属意識の具現化される大きい場であり、わが同窓会も、漸く同窓会活動が軌道に乗る年齢を積み、地方支部、県支部がそれぞれ3か所、職場支部が6か所生れたことはよろこびにたえません。ただ、同窓会の活動に対してまだ専従者を置くだけの力のないことを残念に思います。そこで皆様の御協力が必要で、まず、職場や住所の異動を御連絡いただくことから始めていただきたいと思います。それから私見ですがわが同窓会に固有の言葉一例えは三宅会—がほしいと思います。

同窓会として行っていただきたいことはいろいろありますが、現在では同窓会の皆さんの御意見を吸い上げる場としては、総会の他に自治会と体育会の幹部だった人達の集まりの会が毎年開かれております。然しこれは毎年同じ顔ぶれでいささかマンネリ化したきらいがあり、もっと広範囲の方々から御意見が伺えればと思います。そして外から見た母校に対し、あるいは実社会での体験を通じて見た母校に対してのお考えを集約して、母校の将来の発展の一助となる様な組織のできますことを祈っております次第です。(56. 7. 15)

“同窓会々員名簿

について”

同窓会々員名簿（昭和56年3月発行）のご利用の方は、ハガキに下記の必要事項をご記入の上、同窓会事務局にお申し込み下さい。

なお、料金は名簿と同封してあります振替用紙をご利用下さい。

送料は同窓会で負担致します。

金額 1冊 1,500円

記

- 送付先住所 ○氏名
○卒業年度 ○卒業学科

